

令和5年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	英語	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

1. はつきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。
2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。
3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。
4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。
5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	be 動詞、一般動詞、助動詞 can、 疑問詞 what, who, how, where, when, how many、 I want to～.の文、名詞の複数形 命令文、前置詞 一般動詞の過去形 like [enjoy] …ing. be good at …ing	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の学習内容の文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の名前や相手の出身地、好きなものやできることについてコミュニケーションを行う。 ・様々な疑問詞を用いて、場所や日時や持ち物、希望や夢についてコミュニケーションを行う。 ・ものの数などに合わせて、名詞を正しい形で表す。 ・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書く。
2 学期	三人称現在単数形、許可・依頼、 代名詞、疑問詞 which, whose 現在進行形、感嘆文、不定詞 look + 形容詞 道順の尋ね方、教え方	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の学習内容の文の形・意味・用法を理解する。 ・友達などのことをほかの人に知ってもらうために、インタビューしてわかったことを整理し、まとまりのあるスピーチをしたり紹介文を書いたりする。 ・その場の状況を考えながら、身近な人に聞いたり、それに適切に応答したりする。 ・現在の状況を伝えるために、人が今していることや、感動や驚きの気持ちを伝えあったり話したりする。
3 学期	一般動詞の過去形 be 動詞の過去形 There is [are]… 過去進行形	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の学習内容の文の形・意味・用法を理解する。 ・過去にしたことや状態や気持ちについて、簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたり書いたりする。 ・登場人物の心情などを理解するために、時間の経過や場面の変化に注意してまとまりのある文章から成る物語を読む。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	学習している文法事項の文の形、意味、用法を理解し、必要な情報を理解したり伝えたりすることができるか	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 ・到達度テスト ・定期テスト ・休み明けテスト ・単語テスト ・ワークテスト ・単元別リスニングテスト ・提出物 ・授業観察
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の内容について聞いたり読んだりしたことを理解することができるか。 ・自分自身のこと、友達のことを表現することができるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・到達度テスト ・パフォーマンステスト ・提出物 ・授業観察
主体的に 学習に取り組む態度	適切にコミュニケーションを図り、基礎的な	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックカード ・到達度テスト

	知識や4技能5領域を身に付け、活用しよう としているか。	・観察 ・提出物
--	---------------------------------	-------------

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 英語科の学習について
英語の能力を高めるためには、学校で行う週4時間の学習だけでは不十分です。ノート、ワークを用いた予習、復習を欠かさず行い、学習内容を深め定着させる努力を、継続的に行いましょう。
2. 授業のきまり
学習の目的を達成するための学習活動に積極的に参加するとともに、クラスメートと行うコミュニケーション能力育成のための言語活動に、前向きな気持ちで取り組みましょう。
3. 授業で使う道具
・教科書 ・ノート ・ワーク ・ファイル ・ポイントカード ・タブレット ・(必要に応じて)辞書
4. 授業中の少人数学習
学習内容や身に付けたい技能、領域に応じて、個人での活動、2人組のペアワーク、4人組や6人組のグループワーク、クラス全体での発音練習、個別に相手を見つけるインタビュー活動などを行います。
5. 家庭学習
新出単語の意味調べ、本文の書き写しを予習として行い、本文の日本語訳、反復練習、ワークを用いた問題演習を復習として行ってください。

令和5年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	英語	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 1 はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。
- 2 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。
- 3 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- 4 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- 5 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	・There is/are… ・未来表現 ・SVOO ・SVOC ・to 不定詞 ・接続詞 when, if, that	自分やクラスメートの予定や将来の夢などについて、情報を聞き取ったり、読み取ったり、たずねたり、答えたり、意見や理由を加えて発表したり、文を書いたりすることができる。
2 学期	・助動詞 ・動名詞 ・疑問詞+ to 不定詞 ・比較表現	クラスで人気のあるものなどについて、情報を聞き取ったり、読み取ったり、たずねたり、答えたり、意見や理由を加えて発表したり、文を書いたりすることができる。
3 学期	・受動態	自分やクラスメートのおすすめの場所などについて、情報を聞き取ったり、読み取ったり、たずねたり、答えたり、意見や理由を加えて発表したり、文を書いたりすることができる。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	学習している文法事項の文の形、意味、用法を理解し、必要な情報を理解したり伝えたりすることができるか。	・定期試験 ・リスニング活動 ・単元テスト ・ワークシート ・提出物 ・休み明けテスト ・到達度テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションの相手や場面に応じて、概要を捉えたり、自分の考えを表現したりすることができるか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト ・行動観察 ・ワークシート ・到達度テスト
主体的に 学習に取り組む態度	適切にコミュニケーションを図り、基礎的な知識や4技能5領域を身に付け、活用しようとしているか。	・行動観察 ・到達度テスト ・提出物 ・ポイントカード ・ノート、ワーク、ワークシート ・到達度テスト

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 英語科の学習について
英語の能力を高めるためには、学校で行う週4時間の学習だけでは不十分です。ノート、ワークを用いた予習、復習を欠かさず行い、学習内容を深め定着させる努力を、継続的に行いましょう。
2. 授業のきまり
学習の目的を達成するための学習活動に積極的に参加するとともに、クラスメートと行うコミュニケーション能力育成のための言語活動に、前向きな気持ちで取り組みましょう。

3. 授業で使う道具

・教科書 ・ノート ・ワーク ・ファイル ・ポイントカード ・タブレット ・(必要に応じて)辞書

4. 授業中の少人数学習

学習内容や身に付けたい技能、領域に応じて、個人での活動、2人組のペアワーク、4人組や6人組のグループワーク、クラス全体での発音練習、個別に相手を見つけるインタビュー活動などを行います。

5. 家庭学習

新出単語の意味調べ、本文の書き写しを予習として行い、本文の日本語訳、反復練習、ワークを用いた問題演習を復習として行ってください。

令和5年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	英語科	学年	3年
----	-----	----	----

1 学習の目的

1. 社会的な話題について、短い説明の要点をとらえる。
2. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえる。
3. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合う。
4. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話す。
5. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書く。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	受け身 現在完了形, 現在完了進行形 不定詞	クラスメートの経験などについて、概要を理解したり、読み取ったり、たずねたり答えたり、話したり、まとまりのある文章を書いたりすることができる。
2 学期	名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which](主格・目的格) 後置修飾 仮定法	日本や海外の文化について、理解したり、読み取ったり、理解を深めたり、紹介したり、文章構成を意識した文を書いたりすることができる。
3 学期	3年間の総復習	社会的な話題について、理解したり、要点をとらえたり、意見を述べながら話し合ったり、意見を発表したり、書いたりすることができる。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	学習している文法事項の文の形、意味、用法を理解し、必要な情報を理解したり伝えたりすることができるか。	・課題 ・小テスト ・定期テスト ・リスニング活動 ・提出物 ・授業観察
思考・判断・表現	コミュニケーションの相手や場面に応じて、概要を捉えたり、自分の考えを表現したりすることができるか。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・提出物 ・授業観察
主体的に 学習に取り組む態度	適切にコミュニケーションを図り、基礎的な知識や4技能5領域を身に付け、活用しようとしているか。	・単元シート ・観察 ・提出物

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 英語科の学習について
英語の能力を高めるためには、学校で行う週4時間の学習だけでは不十分です。ノート、ワークを用いた予習、復習を欠かさず行い、学習内容を深め定着させる努力を、継続的に行いましょう。
2. 授業のきまり
学習の目的を達成するための学習活動に積極的に参加するとともに、クラスメートと行うコミュニケーション能力育成のための言語活動に、前向きな気持ちで取り組みましょう。
3. 授業で使う道具
・教科書 ・ノート ・ワーク ・ファイル ・タブレット
4. 授業中の少人数学習
学習内容や身に付けたい技能、領域に応じて、個人での活動、2人組のペアワーク、4人組や6人組のグループワーク、クラス全体での発音練習、個別に相手を見つけるインタビュー活動などを行います。
5. 家庭学習
・文法の定着のために日々ノートに学習していきましょう。教科書の単語や本文はわからない部分を学習し、自分に必要なことを考えながら家庭学習に臨めるとよいです。